

はと 九鳥の峯

No.43
2017
3.31

平成29年3月31日



主な内容

成人式	2P
おね火	2P
公民館講座	2P
節分会	2P
中学生作文コンテスト	3P
高浜駅在所	3P
自主防災会	3P
故郷に生きる	3P
還暦同窓会	4P
編集後記	4P

天草回ザリオウォーク

3月5日 開催

天草有数の景観の白鶴浜から「椿まつり」が開催されている西平椿公園までを眺望しながらウォーキングをする「天草回ザリオウォーク」が開催され220名が参加しました。

高浜漁協上の急坂にびっくりしながらも思い思いの速さで歩きながら景観を楽しんでいました。

成人式 福富 亜美



華やかに大人の仲間入り

「わあー久しぶり、元気しどつた?」と、あちこちで懐かしい友の声が聞こえています。しかし、そこにいる友の姿はあるの頃の中学生ではありません。男子はかつこいいスーツ姿、女子は華やかな振り袖姿です。

緊張の中で始まった成人式。西海荒波太鼓の大きな響きに感動しました。皆様からお祝いの言葉をいただき、担任だった黒川先生の言葉に気持ちが和みました。

これからは大人としての自覚を持ち、周りの人からも認めてもらえるように、しっかりと歩んでいきたいと思います。

「おね火」は高浜に伝わる七日正月の伝統行事で、鬼火は、その名のとおり6日の夜から7日にかけて鬼など災厄をもたらすものが村にやってくるので、それを追つ払う火祭りとして行われてきました。1月7日は雨天で心配でしたが、準備の際は曇天でなんとか鬼火焼きを実施しました。生活部の皆さんで「ぜんざい」も振舞われました。

竹の割れる音にびっくりしながらも、今年一年良い年でありますように願い、正月の伝統行事を楽しんでいました。



生活部の皆さん



講演会の様子

1月29日(日)、中村市長の講演がありました。天草市倉岳町で、数年町外より定住するための幸福論調査アンケートの話をされました。今後、天草町でも幸福論調査を行う予定です。そのほか、天草の世界遺産に向けた長崎・崎津港までの試験航路の話を合せてされました。

公民館全体講座

2月3日、隣峰寺において「子ども節分会」が開催されました。豆まきや絵本の読み聞かせ、ゲームのほか、恒例の『大数珠回し』を楽しみ、無病息災を祈りました。長さ約10メートルの数珠を参加者が車座になつて握り、太鼓の音に合わせ「なむしゃかむにぶつ」と唱えながら数珠を回します。数珠に結んだ白い布を最後に握った人がお菓子を貰えるルール。当たった子どもたちは歓声を上げ、お菓子の詰まつた袋を受け取っていました。普段静かなお寺も、この日は元気な子どもたちの声がこだまし、仏さまもにつこり微笑んでおられるよう感じました。



無病息災を願って!

節分会

全国中学生人権作文コンテスト

な特に印象に残る作品と評されました。



古田さん発表の様子



天草支所の隣に建てられた高浜駐在所

高浜駐在所が
移転します。



包括支援センターさんかより

2月19日(日)、高浜地区自主防災訓練があつた。今回は、天草市地域福祉ネットワーク事業紹介で認知症の講話となり、上河内公民館において天草市社協天草支所の地域福祉ネットワーク事業紹介で認知症の講話がありました。その後消防訓練において老人会の方々がおよそ60人参加して実施されました。

自主防災会

故郷に生きる



長田数志さん

故郷に帰つて来て6年目になります。1年間の天草市の新規就農制度を利用して、ハウス栽培でスナップエンドウを、夏期にはオクラを作つています。野菜作りは、覚えるまでにずいぶんと時間がかかり、最近になつて野菜の成長度合が少しずつわかるようになつて来ました。なるべく減農薬で栽培しようと考えておりますが、日照時間、天候、気温に左右されながら農作業しています。現状としては、3人程度アルバイトを使つていますが、人口減少で働く人が将来的にいなくなるのではないかと心配しております。帰つて来た当初よりは、田んぼも耕作放棄地が少しづつ増えてきました。この放棄地を何かに利用できといかと、日々考えております。

第36回全国中学生人権作文コンテスト熊本県大会が実施され、天草中学校3年生の古田朱音さんが「共に生きる社会を目指して」の作文で特別賞の熊本県教育委員会賞を受賞しました。

熊本県内の約8割にあたる158中学校から2万5358点の応募があり、これは中学生が、日常の生活体験や社会事象の中から人権問題を捉え、豊かな人権感覚と人権尊重の思想を身につけることを目的として実施されたもので、古田さんの作文は豊かな感性と人権感覚を持ち合わせた感動的

